

## 福祉サービス第三評価結果の公表様式〔幼保連携型認定こども園〕

### ① 第三者評価機関名

静岡県社会福祉協議会
------------

### ② 施設・事業所情報

名称：ちはまこども園	種別：幼保連携型認定こども園	
代表者氏名：鈴木 さおり	定員（利用人数）： 110名	
所在地：掛川市千浜 5870 番地		
TEL：0537 - 72 - 2400	ホームページ： <a href="https://www.city.kakegawa.shizuoka.jp/kakekko/docs/303857.html">https://www.city.kakegawa.shizuoka.jp/kakekko/docs/303857.html</a>	
<b>【施設・事業所の概要】</b>		
開設年月日 令和2年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：大東福祉会		
職員数	常勤職員： 15名	非常勤職員 11名
専門職員	保育教諭 26名	
	嘱託医 2名	
	薬剤師 1名	
	栄養士 1名	
	調理員 3名	
	メンテナンススタッフ 1名	
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）

### ③ 理念・基本方針

わくわく、ドキドキ、好奇心に胸を膨らませ、遊びや生活に取り組む、たんけんするちはまの子を育てていきます① 発達段階を踏まえた環境を通して、「あれなんだろう」「おもしろそう」「やってみよう」と自ら環境に関わり、主体性を発揮して取り組んでいく姿を大切にします。② 友達や異年齢児、園を取り巻くいろいろな人とのかかわりの中で、思いやりの心やコミュニケーション力、規範意識の芽生えを培っていきます。③ 豊かな自然環境の中で、自然や人とのかかわり、様々な体験により、体を動かす楽しさ、意欲、頑張る力、豊かな感性を育てます。④ 0歳から小学校就学前までの一貫した教育・保育に努め、一人一人の思いを大切に、自己肯定感を育みます。⑤ 保護者に対する子育て支援を推進し、地域や学校との連携を深め、子どもたちが健やかに育成される環境の整備に努めます。

④施設・事業所の特徴的な取組

保育参観の回数見直し、運動会の順延の廃止、中学生・高校生からのボランティア受け入れ、地域への園便りの回覧。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	7年7月9日（契約日）～ 8年2月20日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	0回（                      年度）

## ⑥総評

### ◇特に評価の高い点

- ・施設経営をとりまく環境と経営状況を的確に把握・分析して、中・長期計画及び事業計画を策定するとともに、福祉サービスの質の向上に向けた取組を、積極的に行っています。
- ・管理者は自らの責任を明確にし、保育の質の向上及びワーク・ライフ・バランスに配慮した、働きやすい職場づくりと、職員一人ひとりの育成に向けた取組を積極的に行っています。
- ・子どもと地域の交流を深めるため、園だよりを地域に回覧し、地域の行事に子どもの作品を展示するとともに、園内の菜園への地域住民の協力や、夏休みに学生ボランティアを受け入れる等、地域との交流・地域貢献を積極的に取り組んでいます。
- ・南向きに配置された保育室や園庭など子ども達の生活環境に相応しいです。
- ・室内は、職員の製作した椅子や遊びのコーナー、木の実や虫の飼育、廃材を利用したおもちゃなど子ども達の興味と遊び、自主性と共生が育まれる環境です。
- ・支援計画に日々直ぐ必要な対応を記録し、計画の改善を図っています。

### ◇改善を求められる点

- ・園児のプライバシー保護に関する規定・マニュアル等の整備が求められます。
- ・標準的な実施方法や支援計画の作成手順書など、今実践されている教育・保育の継続性に関わる資料が必要です。

## ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価を受審し、園運営や保育の取り組みを見直す良い機会となりました。法人の基本理念に基づき、事業計画や園の運営をしていく中で職員への周知方法を工夫し、同じ方向性を持ち取り組んでいくことが大切であることを改めて感じました。自己評価を通して今まで気付くことができなかつたことに気付き振り返りや改善をし、取り組んできたことを改めて職員全員で共有することができたことも成果だと感じます。子どもの主体性を育む援助や園の環境、地域との関わり等、職員全員で取り組んできたことが評価されたことは自信や励みになります。

これからも子どもの思いに寄り添い安心して生活できる環境を整えていきたいと思ひます。必要なマニュアルや規定につきましては本部と話し合い作成し、より安心して利用していただけるよう取り組んでいきたいと思ひます。また、保護者や地域の方々に園運営を知っていただけるよう、今後もさらにわかりやすい発信を心掛け、園への理解を深め、地域に根ざした園となるよう努めていきたいと思ひます。

## ⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

## 第三者評価結果〔幼保連携型認定こども園〕

※すべての評価細目について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

a 評価…よりよい教育・福祉サービスの水準・状態、質の向上を目指す際に目安とする状態

b 評価…aに至らない状況、多くの施設・事業所の状態、「a」に向けた取組みの余地がある状態

c 評価…b以上の取組みとなることを期待する状態

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

### 幼保連携型認定こども園版共通評価基準

#### 評価対象Ⅰ 教育・福祉サービスの基本方針と組織

##### I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>理念、基本方針は施設の使命や目指す方向等が読取れ、冊子に記載し、職員に配布され、4月の職員会議で読み合わせをしている。また、ホームページにも掲載されていて、保護者には保護者総会の資料として掲載し、施設長が説明されている。さらに、施設にも掲示し、常に確認できるように努めている。</p>		

##### I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>法人本部により保育コストや利用者の推移等の分析を行うとともに、市の福祉計画や3歳児人数等を分析している。また、子ども支援協議会や子育て支援センターからの情報から、潜在的福祉ニーズ等の分析を行っている。</p>		
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取組みを進めている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>法人本部において、経営環境や職員体制、財務状況等の現状分析を行い、課題等を明らかにしている。また、現状と課題等についてはホームページや法人の広報紙「すいせん」により、役員及び職員に周知されている。少子化に伴う出生数の減少に対応するため、定員の削減を計画的に行うなど、具体的な取組が進められている。</p>		

--

### I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>中・長期計画は理念や基本方針の実現に向けた目標を明確にし、経営課題等の改善に向けた具体的な内容になっている。なお、数値目標を示していないが防災訓練の実施方法やウッドデッキの活用など、実施状況の評価ができる内容になっている。また、改修に向けた収支予算を計上し、見直しが行われている。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>単年度計画は12月に行う保護者アンケートを参考に、中・長期計画の内容を反映させるように、検討されている。また、事業計画には災害に対する避難訓練や地域との交流の実施回数を掲載するなど、具体的で評価可能な内容になっている。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>事業計画書は保護者アンケートや施設の園評議員の評価を基に、職員の意見を反映させて策定されている。また、4月の職員会議で職員に周知している。さらに、施設の保護者参観等の行事の後に、毎回アンケートを実施し、保育参加の希望が多いことから、保育参加の回数を増やすなど、随時、見直しが行われている。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>毎年、年度初めの保護者総会において、保育方針や事業計画を施設長が説明している。また、ホームページや園だより、ICTを活用し保護者が理解しやすいように努め、保護者の参加を促し、多くの保護者等が参加している。</p>		

## I-4 教育・福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 教育・保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>職員の自己評価を年に2回実施するとともに、園評議員会及び市の教育委員会において事業状況をチェックされ、そこで明らかになった課題等は法人本部、理事会に報告されている。また、課題等は職員がグループ討議を行い、広い廊下にコーナーを設ける等など、運営に生かされている。なお、第三者評価は法人が計画を策定して受審している。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき幼保連携型認定こども園として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>自己評価や評議員の評価結果、市教育委員会の調査等は文書にまとめ、職員のグループ討議の場で課題等が職員に周知され、対応が検討されている。その結果、研修テーマを決めたり、小学校との交流を増やすなど、必要に応じて改善計画を見直されている。</p>		

## 評価対象Ⅱ 組織の運営管理

### Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>施設長は事業計画等でこども園の経営・管理に関する方針と取組を明確に示し、自らの役割と責任について職務分掌で文章化され、4月の職員会議において職員に周知している。また、法人の広報紙において役割の責任について掲載している。さらに、業務継続計画において有事における、施設長が不在時における役割と責任の権限委任等が、明確に示されている。</p>		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p>		

<p>遵守すべき法令等は「認定こども園運営ハンドブック」を、職員がいつでも閲覧できるように整備し、施設長は県社協主催の労務管理研修に参加している。施設長は特に勤務時間管理・短縮に努め、1時間の休憩時間の確保と出退時間を記録して管理するとともに、有給休暇の取得推進などの取組を行っている。</p>		
<p>Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。</p>		
12	<p>Ⅱ-1-(2)-① 教育・保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt;  施設長は保育の質の向上を図るため、職員の週日案により現状と課題を確認し、改善のためのコメントを記載するなど、積極的に参画している。また、自己評価と振り返りにより、保育の質の向上に職員の意見を反映させ、研修に繋げ、園内研修はズームを利用して非常勤職員も受けられるように改善するなど、指導力を発揮している。</p>		
13	<p>Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt;  施設の経営状況を、法人において毎月、人事・財務等の分析している。施設運営に影響する職員の働きやすい環境整備に努め、勤務時間を把握し、休憩時間の確保の徹底と有給休暇を取りやすい環境づくりに努めている。また、キッズビューを導入して保育者間で情報を共有するなど、働きやすい環境整備等に取り組んでいる。さらに、施設運営に地域住民との関わりに重点をおき、施設の畑での野菜栽培や収穫に地域の協力を得ている。</p>		

## Ⅱ-2 人材の確保・育成

		第三者評価結果
<p>Ⅱ-2-(1) 人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。</p>		
14	<p>Ⅱ-2-(1)-① 必要な人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt;  必要な福祉人材や人員体制に関する基本方針等は、法人本部と連携して確立している。また、職員の意向調査を毎年実施し、施設の保育を提供するために必要な人員体制確保を目標に、新規採用計画を立てている。また、人材確保のために、市のお仕事相談会やお仕事フェア等に積極的に参加するとともに、学校への福祉講座へ専門職員が講師で出向くほか、実習生をインターンシップに繋げる等、人材確保に努めている。</p>		
15	<p>Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。</p>	b
<p>&lt;コメント&gt;  法人で人事基準を定め、専門リーダー、研修リーダー等、職員の職務遂行能力や成果等を評価している。また、毎年、職員の意向調査を行い、就労年数に合わせたキャリアアップや自己啓発に助成するなど、自らの将来像を描く仕組みが出来ている。さらに、非常勤職員の正</p>		

規採用職員への道が開かれている。しかし、「期待される職員像等」が明確にされておらず、十分ではない。		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>毎年、職員の意向調査を行い、看護・介護休暇の取得希望や時間外労働、有給休暇の取得状況を常に把握し、ワーク・ライフ・バランスに配慮している。また、ハラスメント相談窓口を設け、職員が相談しやすく、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。しかし、慶弔祝い金や検診や予防接種への助成はあるが、福利厚生のパッケージサービスは実施されておらず、十分ではない。</p>		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>「期待される職員像」は示されていないが、意向調査や面接、キャリアアップ等で職員一人ひとりの目標設定が行われている。また、年度途中にも自己評価と面接を行い、目標への達成度の確認を行っている。</p>		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>施設が必要とする専門技術や資格を明らかにし、研修リーダーを中心にキャリアアップに繋がる研修計画が立てられている。また、今年度「人権」に関するズームでの研修を行うなど研修テーマに添って必要な研修が見直されている。しかし、「期待される職員像」が明示されておらず、十分ではない。</p>		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>職員全体の知識、資格等を把握していて、職員の職務等に応じた教育・研修が受けられるように、年間計画が立てられていることを確認した。また、新任職員には副園長が中心に、OJTが行われている。さらに、園内研修ではズームを活用して、誰もが受講できる体制を整備するなど、一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。</p>		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の教育・福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		

20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の教育・保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>実習生受け入れに関するマニュアルが整備され、基本姿勢が明文化されている。また、指導者は研修を受けている。さらに、実習期間中に学校・実習生と話合う時間を確保するなどの工夫が行われている。しかし、専門職種に配慮したプログラムが用意されておらず、十分ではない。</p>		

### 3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>ホームページ及び法人の広報紙を用いて、法人及び施設の理念や基本方針、地域の福祉向上のための取組の実施状況、苦情への対応を公開している。また、園だより及び支援センターだよりを地域の世帯に回覧していただき、施設の基本方針や活動状況に理解を得るよう努めている。さらに、大浜中学校区子ども育成協議会（大浜学園）の夏季集会ではパワーポイントを利用して地域との関りを知っていただく活動を行っている。</p>		
22	Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>施設における経理、取引等に関する規定及び職務分掌は明確にされ、職員会議で周知している。また、内部監査を年に2回、園評議員会を年に2回開催されていることを確認した。さらに、税務事務所の指導を受けるなど、公正かつ透明性の高い適正な経営・運営に取り組んでいる。</p>		

### Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	Ⅱ-4-(1)-① 園児と地域との交流を広げるための取組を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>地域や学校と連携を深めることを、事業計画の重点項目に掲げるとともに、地域ボランティアの読み聞かせ会開催の情報を、園だよりを利用して保護者に提供している。また、地域の植樹に職員がボランティアで参加するほか、施設の畑に地域住民が野菜などを栽培し、子どもとの交流に取り組んでいる。</p>		

24	Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>施設の菜園に地域住民が野菜を栽培するほか、夏休みにボランティアを受け入れている。しかし、ボランティア等の受入れに関するマニュアルは整備されておらず、十分ではない。</p>		
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ-4-(2)-① 幼保連携型認定こども園として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>地域の関係機関については、電話帳でリスト化し、子ども育成支援協議会及び学校運営協議会に参加し、地域の共通問題に対して取り組み、職員は虐待対応研修に参加している。特に児童虐待に対しては、市のこども相談課と連携し対応を行っている。</p>		
Ⅱ-4-(3) 地域の教育・福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 地域の教育・福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子ども育成支援協議会への参加や、地域の民生・主任児童委員、園の評議員との語る会を定期的に行っている。また、施設が運営している子育て支援センターにおいて相談事業を行い、地域の福祉ニーズ等の把握に努めている。</p>		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の教育・福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>地域との交流を深める中から、農村改善センター祭りに子どもの作品展示を行うほか、災害に備えて非常食を備蓄し、炊き出し用の設備を整備して訓練を行っている。また、子育て家庭が悩んでいる離乳食についての講座を開催するなど、地域へ還元する取組を積極的に行われている。</p>		

### 評価対象Ⅲ 適切な教育・福祉サービスの実施

#### Ⅲ-1 利用者本位の教育・福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 園児を尊重した教育・保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p>		

<p>子どもを尊重した保育を提供するため「子ども支援の心得」を策定し、年度初めには読み合わせを行い、職員が理解し、実践に努め、園内研修やセルフチェックやグループワークで、共有の理解を持つための取組を行っている。また、人権教室で子どもが互いに尊重する心を育てる取組を行い、その様子を園だよりに掲載し、保護者も理解を深める取組を行っている。</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-② 園児のプライバシー保護に配慮した教育・保育が行われている。	c
<p>&lt;コメント&gt;          トイレやシャワーにはドアが設けられ、プライバシーが守られるように整備されている。また、園庭が外部から見られないようにネットを張るなど、プライバシーに配慮した保育が実施されている。しかし、子どものプライバシー保護に関する規定・マニュアル等が整備していない。</p>		
<p>Ⅲ-1-(2) 教育・福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。</p>		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して幼保連携型認定こども園の選択に必要な情報を積極的に提供している。	a
<p>&lt;コメント&gt;          ホームページを用いて理念や基本方針、保育の特性などの情報を適宜見直して発信するとともに、パンフレットを市役所に置いて誰もが手に取るように努めている。また、園だよりを地域住民に回覧して、常に施設の運営状況を理解してもらえるように努めている。さらに、利用希望者に対しては施設長が対応している。</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 教育・保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a
<p>&lt;コメント&gt;          保育の開始に当たっては、重要事項説明書及び入園のしおりを配布し、イラストや写真を多く用いたパワーポイントを利用して説明し、同意者のサインをもらっていること。また、外国籍の保護者に対しては市役所の協力を得て、母国語で個別に対応している。</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 幼保連携型認定こども園等の変更にあたり教育・保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;          子どもの転園に対しては転園先に指導要録や健康診断表を郵送している。また、就学児童に対しては、学校での体験を行って児童の不安解消に努め、就学時には指導要録を提出するとともに、特に支援が必要な児童に対しては、保護者の考えや支援方法についても引継ぐなど、継続性に配慮した対応を行っている。</p>		

Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保護者との面談は7月から8月にかけて行い、アンケートを実施するほか、保護者会には担当職員が出席している。また、施設では一日参観や保育参加を開催した後のアンケートにより意見を出してもらい、アンケート結果をキッズビューや園だよりを用いて公開している。さらに、保護者からの意見を分析・検討し、運動会が天候に左右されないように会場を体育館に変更したほか、保護者を対象にした講演会を開催している。</p>		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>苦情解決の仕組みは整っていますが、苦情を申しやすい仕組みや環境を整える必要があります。</p>		
35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>相談や意見を述べるための説明文書はありません。相談を受けやすい場所は設置されていません。送迎時など気軽に保護者が相談し、対応しています。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>相談を受けた際の、対応マニュアルはありません。キッズビューや連絡ノートなどでの意見やアンケートの内容には、適宜対応しています。外国人には通訳などの対応も行われています。</p>		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な教育・福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な教育・福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>リスクマネジメントに対する委員会は組織されていません。備品や遊具の安全管理やヒヤリハットの集計報告や、防犯訓練・マニュアル研修は実施されています。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における園児の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>感染症マニュアルはありますが、責任と役割を明確にした管理体制の記載がありません。マニュアルにはフローチャートも作成され迅速な対応が図れます。研修も実施され、情報も保護者に知らされます。</p>		

39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における園児の安全確保のための取組を組織的に行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt; 地震防災マニュアルがあり、地域で想定される災害に対応しています。防災訓練も行われ、家族との連絡方法など備えられています。</p>		

### Ⅲ-2 教育・福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する教育・福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 教育・保育について標準的な実施方法が文書化され教育・保育が提供されている。	c
<p>&lt;コメント&gt; 標準的な実施方法が文書化されていません。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	c
<p>&lt;コメント&gt; 標準的な実施方法が文書化されていません。</p>		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより教育・福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	b
<p>&lt;コメント&gt; アセスメントに基づく指導計画を策定され実施されていますが、指導計画の作成にあたっての手順書がありません。</p>		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt; 年間の園内研修計画に基づき、評価見直しは行われているが、見直しを行うための組織的な手順書はありません。</p>		
Ⅲ-2-(3) 教育・福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 園児に関する教育・保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	b
<p>&lt;コメント&gt; 統一された書式で作成、保管されていますが、記録に差を生じさせない為の記録要領はありません。保育の実態は、日々記録されコンピューターに入力し共有が図られています。</p>		
45	Ⅲ-2-(3)-② 園児に関する記録の管理体制が確立している。	a
<p>&lt;コメント&gt; 個人情報保護規定はありませんが、大東福祉会の個人情報に関する基本方針・文書管理規定に必要なことは記載されています。保護者にも説明をしています。</p>		

## 幼保連携型認定こども園版内容評価基準

### 評価対象 A-1 教育・保育内容

		第三者評価結果
A-1-(1) 全体的な計画（教育課程を含む）の編成		
A①	A-1-(1)-① 幼保連携型認定こども園の理念、教育・保育の方針や目標に基づき、園児の心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画（教育課程を含む）を編成している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>理念に基づき、園児の心身の発達過程や各家庭に配慮、地域に対応した計画が策定されています。</p>		
A-1-(2) 環境を通して行う教育・保育、養護と教育の一体的展開		
A②	A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、園児が心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>室内環境、内外の設備や遊具、子どもの落ち着ける場所、明るさと清潔や安全への工夫など、子どもが心地よく過ごせる環境を整備しています。</p>		
A③	A-1-(2)-② 一人ひとりの園児を受容し、園児の状態に応じた教育・保育を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>一人ひとりの子どもの気持ちに寄り添い、穏やかな保育を行っています。</p>		
A④	A-1-(2)-③ 園児が基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>年齢や能力に応じて、生活習慣を身につけることができる環境を作り、支援を行っています。</p>		
A⑤	A-1-(2)-④ 園児が主体的に活動できる環境を整備し、園児の生活と遊びを豊かにする教育・保育を展開している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>可能な限り園児の自主性を尊重し自由な活動を妨げない環境と教育保育を実施しています。</p>		
A⑥	A-1-(2)-⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>ゆったりとした流れの中で過ごせるように、静かな環境・床暖房などの環境を整え、部屋に幾つかのコーナーを作るなど工夫が見られます。</p>		
A⑦	A-1-(2)-⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の	a

	内容や方法に配慮している。	
<p>&lt;コメント&gt;  食事・着脱・排泄など、それぞれの子どもに対応しています。部屋に自然のものを置たり、遊びのための様々な工夫がされています。異年齢児の声掛けも行われています。</p>		
A⑧	A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の教育・保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、教育・保育の内容や方法に配慮しています。	a
<p>&lt;コメント&gt;  季節ごとに室内の造りに変化を加え、ごっこ遊びや年齢に応じて、様々な活動が出来るように配慮されています。</p>		
A⑨	A-1-(2)-⑧ 障害のある園児が安心して生活できる環境を整備し、教育・保育の内容や方法に配慮しています。	b
<p>&lt;コメント&gt;  バリアフリーなど環境を整え、家族や関係機関との連携の上、子どもの独自性に対応しています。障害のない子どもの保育者に積極的な理解のための情報は伝えています。</p>		
A⑩	A-1-(2)-⑨ それぞれの園児の在園時間を考慮した環境を整備し、教育・保育の内容や方法に配慮している。	b
<p>&lt;コメント&gt;  朝夕の延長保育について、過ごす部屋などの対応をしており、安心して預けることができます。延長時間に合わせた食事やおやつの対応はしていません。</p>		
A⑪	A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、教育・保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a
<p>&lt;コメント&gt;  計画に小学校との連携に関する項目があり、園児・保護者の学校訪問や園主催で、学校の教諭と保育教諭の研修なども年2回実施しています。</p>		
A-1-(3) 健康管理		
A⑫	A-1-(3)-① 園児の健康管理を適切に行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt;  健康管理の手順などを記載したマニュアルはありません。受入や一日の流れの中での健康管理は行われています。SIDSも積極的に利用しています。</p>		
A⑬	A-1-(3)-② 健康診断・歯科検診の結果を教育・保育に反映している。	a
<p>&lt;コメント&gt;  年2回の健康診断・年1回の歯科検診を実施し、結果を記録、必要に応じて保育に反映しています。結果は保護者にも伝えられ、必要な対応を依頼しています。</p>		
A⑭	A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある園児について、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt;  マニュアルを整備し、提供についてもチェック体制を整えています。慢性疾患の投薬対応に</p>		

ついても、医師の指示に基づいて適切な対応をしています。他の保護者に対して理解を図る取り組みは、特にしていません。	
A-1-(4) 食事	
A15	A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。 a
<コメント> 椅子やテーブルなどの使い易い高さの環境整備、食材の生を手にする、育てる・食べるなど、食事を楽しむ工夫が沢山あります。	
A16	A-1-(4)-② 園児がおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。 a
<コメント> 地域の特産や旬の味覚などを取り入れ、好き嫌いのなくなるように、切り方などを工夫しています。給食の職員と一緒に食事して、こども達の様子を確認しています。	

## 評価対象 A-2 子育て支援

		第三者評価結果
A-2-(1) 家庭との緊密な連携		
A17	A-2-(1)-① 園児の生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。 a	
<コメント> 保護者との対話は、送迎時だけでなく、連絡帳やキッズビューを使い、連携を取りやすく、園での様子もお便りの記載や、掲示板で写真の展示など分かり易く行っています。		
A-2-(2) 保護者等の支援		
A18	A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。 b	
<コメント> 保護者からの相談に対する決められた手順書はありません。相談があった場合は相談者の都合で時間を設定し、内容によっては園の特性を活かした対応をしています。		
A19	A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。 a	
<コメント> マニュアルが整備され、対応のための体制も整っています。必要に応じて、市役所との連携も図ります。		

## 評価対象 A-3 教育・保育の質の向上

		第三者評価結果
A-3-(1) 教育・保育実践の振り返り（保育教諭等の自己評価）		
A20	A-3-(1)-① 保育教諭等が主体的に教育・保育実践の振り返り（自己評価）を行い、教育・保育実践の改善や専門性の向上に a	

	努めている。	
<p>&lt;コメント&gt; 日々の様子などから常に必要な事を記録し、共有、改善をしている様子が見られます。保育実践についてはグループワークが行われ、担当者以外の繋がりが強いことが確認できます。</p>		